

湖畔の風



令和5年 会長年頭のあいさつ



あけましておめでとうございます。

田瀬の皆様には、すがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の当コミュニティ会議の事業活動につきましては、新型コロナウイルスによる制約を受ける中にありながら「田瀬のみりのまつり」をはじめ計画どおり事業を進めることが出来ました。地域の皆さまの参加協力を深く感謝申し上げます。

本年は、自治会を始め地域内の各種団体との連携を図り、地域課題の情報をいただきながら、豊かで安心して暮らせる田瀬地域をめざして事業に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

最後に、田瀬の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

田瀬地域コミュニティ会議
会長 菅原 勇一

★白土地区 門松飾り

毎年新年を迎える行事として門松飾りが白土地区で行われました。門松や松飾りは、歳神様をお迎えする目印といわれています。

新型コロナウイルス感染予防のため昨年は実施できませんでしたが、今年は12月25日(日)2年ぶりに白土地区集落センター前に建てられました。

令和5年は田瀬の皆さまにとって、幸福に満ちた一年になりますように。



☆田瀬のイルミネーション 2022☆



振興センター近くの三浦さん宅のイルミネーションです。

毎年11月下旬から1月いっぱいぐらい点灯され、近くの県道を通行する車やみなさんの目を楽しませています。

写真では青く見えますが、近くでは赤や黄色など何色もあります。

異聞 田瀬の歴史 第13回

砥森山の佛塔

東和町で最も高い山は、田瀬にある670mの

砥森山ですが、この山は康平5年(1062)に安倍貞任を追ってきた朝廷軍の源義家が山頂に登って石の祭壇をつくり、貞任追討の祈願をしたということです。これが砥森神社創建の起源です。その石の祭壇の右前には高さ2メートルの佛塔があります。

何故、ここに仏教の石塔が建っているのでしょうか。

『東和町史』によれば、嘉永6年(1852)建立されたとあります。

この歴史を探訪してみます。ここに建てられている佛塔は「宝篋印塔(ほうきょういんとう)」といい、本来は『宝篋院陀羅尼』というお経を埋納したところに建てるものです。このお経は、仏道修行のために延命、厄難消除、不安解消を祈るお経で、興禅院に伝えられている話では、14代住職の尊応悟了和尚が発願して建てたようです。尊応和尚が田瀬のお寺の住職になったのは天保13年(1842)でしたが、その数年前から干ばつや冷害で農家の生活は苦しく、三陸沿岸の村々では百姓一揆が起り、その火種は宮古、釜石、遠野と南下して南部藩を越えて伊達藩にまで及び、天保8年には小山田村に一揆が発生し、土沢に集結した一揆勢は安俵、落合、東晴山、谷内まで達したといわれます。幸い一揆は谷内峠を越えなかったため田瀬は一揆に加担することはありませんでしたが、天保14年には一揆の首謀者が処刑されるなど周辺の村落の状況が心配されました。

和尚は檀家の主な役員を集めて提案をしました。それは、「この辺で一番高い山は砥森山だ。この山の頂上に宝篋印塔を建ててこの地方の平安を祈りたいと思う。手伝っていただきたい。」という提案でした。

役員たちは和尚さんの願いを聞いて誰も反対するものはいませんでした。和尚さんも役員たちに経済的な負担をかけてはいけなと、石は和尚さん自らが彫ることにして、近くの山から石の調達だけをお願いしました。

というのも仏像を彫るときもそうですが、宝篋印塔も仏さまと同じです。一刀三礼、一石一字三礼の作法で彫らなければなりませんから、和尚さんは自ら彫ることにしたのでした。石が集められると毎日石を彫る作業が続けられ、一字彫るごとに和尚さんは五体投地というお拝の作法をして彫るのです。

何年から始まったのかは記録がありませんのでわかりませんが、嘉永6年4月8日についに完成し入仏供養が檀家の人たちの参列で行われました。私は昭和61年5月5日の山開きに登り宝篋印塔の調査をしました。44歳でも厳しい登山でした。

170年前、当時の人はあの石を背負って、あるいは引き釣り挙げて運んだのでしょうか、無報酬で何日かかったのでしょうか。何人出役したのでしょうか。その労苦は想像を絶するものがあります。



砥森山頂上に建てられている、佛塔「宝篋印塔」



砥森山頂上より、田瀬ダム・田瀬地内をのぞむ

★ 介護教室&マジック教室 開催

保健福祉部事業の「介護教室&マジック教室」が12月6日(火)に振興センター会議室において開催されました。

なごみディーサービスの利用者の方も参加していただいて、たいへんなごやかな、笑いのある教室でした。

介護教室は本年も、東和荘の笹川泰利さんを講師に、認知症にならないためのお話をいただきました。年齢を重ねるとトイレの問題や、最近ではコロナウイルス感染の心配などで外出がおっくうになります。紙おむつなどを利用し、感染予防・寒さ対策をしてなるべく外にでて、人と関わり、認知症予防に努めましょう。とお話していただきました。



とにかく、おっくうがらずに外に出ましょう。認知症予防につながります。



その後は3年連続となる、二本木光史さん(市内西宮野目在住)によるマジック教室でした。マジックは脳トレにもなり、「なぜだろう?」「不思議だな?」と考えることは脳に良い刺激を与えるそうです。種明かしになるほどと感心もさせられました。



種も仕かけもごさいます!



カラフルなハンカチまだまだ出てきまーす!



不思議な絵の説明に頭をひねるばかり。

★ 親子クラフト教室 開催

12月18日(日) 田瀬在住の雪猫工房・内館智美さんを講師に手づくりのガラス玉やビーズを使って、チャームと指輪を作りました。

去年はケーキ作り教室を開催しましたが、今年は、クラフトに挑戦しました。

最初は細かい作業で難しかったですが、講師の内館さんがひとりひとりに丁寧に教えてくださり、参加者全員、世界で一つのアクセサリを完成させました。

中には手早いかたもいて、2個目を作った方もいました。



雪猫工房・内館智美さん
15年前からトンボ玉などの制作を行い、イベントやクラフト展に参加するなどの活動をしています。



上:チャーム、下:指輪



ひとりひとり、丁寧に教えていただきました。



しーん! 子どもも大人も集中。



自分の作品を黒板にはり、記念写真

☆ 健康体操教室の開催のご案内

令和4年度 保健福祉部事業の健康体操教室が開催されます。

◎1月25日(水)から3月8日(水) 毎週水曜日(全6回)健康教室を開催いたします。

運動不足になりがちな季節、軽体操と楽しいレクリエーションで体を動かしましょう!詳しくは、各戸に配布いたしました、チラシをご覧ください。たくさんのご参加をお待ちいたしております。

日程: 1月25日(水) 2月1日(水) 2月8日(水) 2月15日(水) 2月22日(水) 3月1日(水)

講師: ふれあい出前講座講師 富手 京子さん(花巻市湯本)

申込み: 令和5年1月20日(金)までに振興センターまでお申し込みください。



☆花巻市博物館 企画展「山の暮らし」

会期 12/10(土)~1/29(日)で開催されている企画展は「山を生業の場としてきた人々が使用した様々な道具やかつての写真などから花巻での山の暮らしに迫ります。」

その展示の中に田瀬振興センターより貸し出した、ダム建設のため沈んだ家屋の地図や写真、歴史資料館やダム管理支所所蔵のダム建設関係の写真が多く展示されています。田瀬地区に関する展示ですので、どうぞご覧ください。

花巻市博物館 住所: 花巻市高松第26地割8番地1 ☎: 0198-32-1030

入場料: 一般 350円/高校・学生 250円/小・中学生 150円

1月、2月の行事予定

- 健康教室 1月25日(水)~3月8日(水)全6回
※ 別にチラシを配布しております。そちらをご覧ください。
- 厄祓い(3地区合同) 2月5日(日) 田瀬振興センター
- チェンソー安全講習会 2月26日(日)、3月4日(土)、5日(日)
- 各部会(1月下旬~) 日程決まり次第、お知らせいたします。



※新型コロナウイルス感染状況などにより、変更になることがあります。ご了承ください。

田瀬地区の人口

(令和4年11月末現在)

| 行政区 | 世帯数 | 人数 | | | 比較 (10月末) |
|------|-----|-----|-----|-----|--------------|
| | | 男 | 女 | 計 | |
| 田瀬第1 | 68 | 81 | 91 | 172 | — |
| 田瀬第2 | 28 | 33 | 35 | 68 | — |
| 田瀬第3 | 72 | 76 | 88 | 164 | 1人増 |
| 計 | 168 | 190 | 214 | 404 | 1人増 |

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで